

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 12 日作成)

委員会名	小規模建築物基礎小委員会	主 査 名：安達俊夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：時松孝次
設 置 期 間	2000 年 4 月～2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	目的：本会の「小規模建築物基礎設計の手引き」の改定のための資料収集と分析 2000 年度：戸建住宅基礎の障害事例の収集と分析 2001 年度：戸建住宅基礎の障害事例の収集と分析、シンポジウム開催 2002 年度：基礎の対策工法の適用範囲に対する検討、シンポジウム開催 2003 年度：改定版の章・節・項の目次の作成	
委員構成 (委員名(所属))	安達俊夫(日本大学) 藤井衛(東海大学) 田村昌仁(建築研究所) 茶谷文雄(大林組) 若命義雄(設計室ソイル) 人見孝(都市整備公団) 遠藤隆(日本木造住宅協会) 伊奈潔(中央建鉄) 伊集院博(旭化成) 岡野泰三(三井ホーム) 松下克也(ミサワホーム) 佐藤隆(住友林業) 工藤賢二(積水ハウス) 青島一樹(大成建設) 鴨下順司(ハウスプラス住宅保証)	
設置 WG (WG 名：目的)	地盤評価 WG：地形と地盤、地盤調査、盛土の造成計画など敷地地盤の評価に関する文献資料を収集・整理する。 基礎設計 WG：基礎の選定、支持力と沈下計算法、不同沈下と建物障害など戸建住宅の基礎設計に関する文献資料を収集・整理する。	
2003 年度予算	122,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会は 5/7、7/11、9/19、11/13、1/8、3/8 の計 6 回開催した。各回の出席者は 11～15 名であった。また地盤評価 WG と基礎設計 WG の合同 WG は、6/12、7/29、8/25、9/16、10/23、12/9、1/22、3/2 の計 8 回開催した。各回の出席者は 15～18 名であった。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>1988 年刊行の「小規模建築物基礎設計の手引き」の改定版の章・節・項の目次を完成させ各項の内容について慎重に検討した。本小委員会は、2004 年 4 月に設置予定の小規模建築物基礎設計の手引き改定小委員会へ発展的解消をとげ、改定作業に必要な有用な資料を収集整理し分析できた。</p> <p>建築基準法の改正や住宅の品質確保の促進等に関する法律の施行に伴う性能表示制度、さらには指定住宅紛争処理機関の設置などにより、戸建住宅の地盤調査と基礎設計についても技術基準が大きく変わりつつある。このような状況の下で、刊行して既に 15 年経過した「小規模建築物基礎設計の手引き」の改定作業の準備をすることは、技術的・社会的価値があると考えている。</p>
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>「小規模建築物基礎設計の手引き」の改定版の章・節・項の目次および項の内容を表すキーワードについて慎重に検討した。その結果、改定作業に必要な充実した資料を作成することができた。目標の達成度は 90%程度と考えている。</p>
その他評価すべき事項	なし